



東京タイムス新聞抄譯
 千八百七十七年十月六日發兌
 同 十月廿日發兌
 同 十月廿日發兌
 社說
 マオンセル氏報告ノ事
 全全
 全全



4231



414
A2316



社説

卷末 掲出スル所ノ倫敦支那新報ノ拔萃ニ「マオニ」氏ノ報

告書ヲ論ス我輩之ヲ見テ日本理財ノ情勢大ニ宜シキヲ覺知セ
リ然レ其拔萃書中海關稅ノ論ニ至テハ於モ「マオニ」氏ノ
論ト符節ヲ合ハスカ如ク其記者ノ論ハ如何カ又英國公使館ノ
書記官ノ持論ハ如何カ其區別更ニ分明ナラス故ニ我輩ハ惟其
分畫ノ端正ナルヲ見テ始メテ満足スル所アリト云ハン而已
抑モ日本海關稅ノ増加ヲ難スル者ハ其記者ナルカ將タ「マオニ
セ」氏ナルカ我輩其孰レニ在ルヲ確知セスト雖モ恐ラクハ記
者是レナルヘシ如何トナレハ記者ノ如キハ日本稅關ノ實際ヲ
目撃シタルニ非ス又其輸出入稅ノ收獲僅カニ四分以下ニ在ル
トモ看認シタルニ非ラサレハナリ而シテ此記者ニ限ラス英
國ノ記者輩カ徃々日本稅額ノ増加ヲ非トシ五分ノ稅額ハ各國

天正十一年四月
陳侯爵郵寄贈

普通ノ定則ナリト喋々シ敢テ又日本税関ノ實況ヲ詳論スルヲ
欲セザルハ異シム可キモノ、如シト雖氏若シ夫レ此等ノ記者
輩ニシテ之ヲ詳論セハ却テ英國ノ日本ヲ束縛シ之カ曲事ヲ自
カラ暴露スル所以ナリ故ニ茲ニ論及セザルモ亦異ムニ足ラサ
ル也

社説

二週間前ニ倫敦支那新報ノ記者カ「マオンセ」氏ノ報告書ヲ論
セリ此時ニ當テ我輩ハ同氏ノ税則論ニ喙ヲ入レテ其論ノ不當
ナルヲ云ヘリ蓋シ其新聞ニ掲載シタル所ヲ以テ我輩カ判定
ヲ下サハ同氏ノ論タルヤ單ニ新聞紙中ヨリ抄出シタルモノ、
如クシテ「マオンセ」氏ノ論ニ似サルカ如シ
今其論ヲ見ルニ極メテ簡單ニシテ且ツ鶏肋タルヲ免カレサル
モノ、如シ乃チ曰ク日本海關税額ハ條約ノ確定スル所ニシテ
従價税五分是レナリト云ヘリ然レトモ畢竟斯ク税額ヲ明記セ
ル以上ハ其輸出入ノ收税額ハ實ニ四分以下ニアリト云ヘル實
際ヲ誓求シ即チ日本ニ於テハ外國條約ノ意未タ實行セラレサ
ル所以ヲ論及セスンハアル可ラサル也

マオンセイ氏ノ報告書中海関税論ヲ見ル

今ヤ「マオンセイ」氏カ日本理財ノ事ニ付編述ニタル大成完備ノ
報告書ノ刻成テ世ニ公ニセラレタリ而シテ倫敦支那新報ハ之
ヲ槩論セリ其中海関税ノ事ニ付論シタル所ヲ視ルニ假令セ其
論者ノ故意ニ非スト雖モ或ハ世人ヲシテ迷惑セシムル所ナキ
ヲ保タストス而シテ我輩ハ「マオンセイ」氏ノ云ヘル所ヲ亦解ス
ルヲ得タリ今同氏ノ論説ヲ掲載セハ即チ左ノ如ク僅々三四章
ノ間ニ之ヲ約ス乃チ曰ク

日本輸出入物品ノ税額ハ外國條約ノ確定スル所ニシテ即チ
従價税五分是ナリト

又曰ク

日本人民ハ外國條約中海関税ノ條款ヲ改正センヲ希望ス
如何トナレハ其論ヲ聞クニ條約ノ定ムル所五分ナリト雖モ

其實ハ五分ノ収獲ヲ入レサルヲ以テ其條款ハ有名無實ニ屬スルト云ヘハナリ然リト雖モ余以為ラク横濱商法會議所ノ説ハ然ラサルヘシ之ヲ明言セハ乃チ其収獲ハ五分ニ止マラスシテ實際七分ノ稅ヲ收ムルノ物品居多ナリトノ説ナリ是ヲ以テ之ヲ觀レハ未タ公平ノ點檢ヲ遂ケサル所以ナリト又曰ク

日本ニ於テハ須要ノ物品ハ姑ラク措キ奢侈ニ屬スル物品ニ至テハ頻リニ之カ輸入ノ稅額ヲ増サン事ヲ希圖ス而シテ今若シ之ヲ昇昂スルモ果シテ稅關ノ収獲ヲシテ増加セシムルヤ否ヤ余之ヲ明言シ難シト

我輩ハ以上ノ論ヲ通覽スルニ或ハ稅關ノ収獲ハ五分以下ト云レ或ハ五分以上ニシテ實際七分ナリト云セ其孰レハ是孰レカ非ナルヲ辨明スルヲ能ハスト雖モ能ク如此ナレハ曰氏カ日本

理財ノ實況ヲ網羅セント企望シタル事業ニ於テ隔靴搔痒ノ歎ナキヲ得ルヘシ如何トナレハ彼レ曰ク未タ公平ノ點檢ヲ遂ケサル所以ナリト明言シタレハナリ而シテ此點檢ヲ遂クルニ當リ何物カ能ク彼ヲシテ妨礙セシメタルモノアリヤ蓋シ之レ無カルヘシ果シテ然ラハ「マオンセ」氏ノ言ハ其正鵠ヲ失スル而已ナラス聊カ其事業ニ費心焦思ノ跡ヲ見スト云テ不可ナルナシ然レモ我輩ハ敢テ同氏カ此重大ノ議論ヲ曖昧ニ糊塗シタルト云フニ非ス惟其論ノ短文ナルヲ見テ少シク其間ニ疑團ヲ懷ク而已蓋シ其書ニ論スル所ハ此稅則論ヲ除キ極テ周詳細密ニシテ日本理財ノ深蘊ヲ詳悉シタルモノト云フ可シ

今其第一章ヲ見ルニ日本海關稅額ハ外國トノ條約ニ因テ決定シタル所ト云ヘリ又第二章ヲ見ルニ日本人民ハ五分ノ収獲ヲ得スト記セリ而シテ日本海關稅額ハ日本ノ收稅五分ニ止マラスシテ

時トシテハ五分以上ノ税額ヲ得ルトノ説ヲ把持スト「マオンセ」氏カ自カラ深信シテ此説ヲ記載セリ斯ク彼是ノ事ヲ記載シタルヲ見レハ決シテ同氏ニ於テハ偏倚ノ點檢ヲ為サスシテ所謂公平ノ點檢ヲ遂ケタルモノト看做サ、ルヲ得ス又其論ノ終尾ヲ見ルニ税関ノ收入ハ税額ヲ増加スルヲ以テ必スレモ増殖スルモノト決定シタルニ非ス

抑モ文中一トシテ實際ノ論ナキ而已ナラス同氏ノ持論ヲモ記載セス徒ラニ商法會議所ノ説ハ斯クモアルヘシト自己ノ臆測ヲ下シ果シテ該局ニ於テ斯ノ如キ説ヲ唱ヘタルヤ否ヤヲ証明スルノ憑據ヲ記セス畢竟斯ノ如キ説ヲ掲載スル以上ハ免ニ用頼ル所ノ証左ヲ明説セスンハアラス然レトモ今若シ此説ヲシテ果シテ頼ル所アルモノト看做サハ其論ハ何事ノ點ニ在リトスルカ我輩ヲ以テ之ヲ觀レハ現時ノ税法ニテハ五分ノ收

獲ヲ得スト云ヘル日本人民ノ論ト牴牾シタル意ヲ記スルマテニシテ敢テ其論ヲ鞏固ナラシムルノ理由ナシ如何トナレハ先ツ日本税関ニ於テ審査整頓シタル所ノ各港輸出入報告ハ例ニ據テ之ヲ世ニ公ニスルヲ以テ「マオンセ」氏ニ於テモ自在ニ之ヲ見ルヲ得ルハ論ヲ待ス恐クハ公使館ニ於テモ之ヲ收藏スヘシ而レテ此書ニ因テ點檢セハ税関ノ收入如何ヲ一目瞭然クナシムル所アレハナリ惟云フ其書ハ皆輸出入ノ實況ヲ記スル而已ニシテ焉シソ彼ノ管商局云々ノ説アルヲ見ルヲ得シヤ而シテ我輩之ヲ調査スルニ收税ノ平均高四分以下ナルヲ知ル也今「マオンセ」氏カ一方ニ於テハ日本人民ノ確説ヲ記シ又一方ニ於テハ自己ノ想像ヲ以テ之レト反對シタル説ヲ掲ケ恰モ能ク二説ノ權衡ヲ得タシモノト徒ニ思考シタルカ如シ然レ氏自己ノ臆測ヲ記シ却テ其説ノ妄誕ナルヲ示シタルハ畢竟彼ノ報

告ニ因テ點檢ヲ遂ケサルノ致ス所ナリ而シテ之ヲ為スハ暗易
キ而已

叔同氏カ喋々ト未タ公平ノ點檢ヲ遂サル所以ナリト明言シタ
ルハ又誠ニ啞臍ノ悔アルヘシ如何トナレハ同氏カ書ニ於ケル
ヤ稅則論ヲ除キ極メテ周詳ニシテ頗フル完成ニ近シト雖モ惜
ラクハ一簣ヲ闕ケハナリ是ヲ以テ今若シ其說則論ハ將來日本
ニ於テ條約改正ノ期ニ際シ果レテ美果ヲ結フヘキ原理アルヤ
否ヲ追論セシメハ同氏カ稅則論ハ一トシテ有益ヲモノニアフ
ス如何トナレハ其論ノ一半ハ海關稅額增加ノ事ニシテ是レ素
ヨリ日本人民ノ業已ニ論シタル所ナリ又其一半ハ橫濱ノ高法
會議所ニ於テハ斯クモアラント自カラ信シテ其說ヲ造作シタ
リト雖モ各港輸出入報告ニ因テ之ヲ審査セバ其說ハ立トコロ
ニ破碎スレハナリ故ニ我輩ハ同氏ノ論ヲ以テ「ブンスベ」ト亞流

ノ說ト看做サ、ルヲ得ス但シ「ブンスベ」トハ「チッケン」氏ノ小
說中能ク妖言ヲ吐ク一箇ノ奇人ナリ
讀者ハ我輩カ說ク所ヲ以テ「マオンセ」氏ノ論ヲ看破シタルモ
ノト看做スヘカラス惟我輩ハ短刀直入ニ自由ノ論鋒ヲ以テ此
文義ヲ明晰ナラシムルニ當リ其間ニ一ノ嫌アリト云フ而已而
シテ斯ノ如ク僅々三四章ノ間ニ海關稅ノ實況ヲ記シ之ヲ以テ
果シテ信據スルモノトセハ其信據ノ理由ハ何レニ在ルトスル
ヤ我輩ヲ以テ之ヲ觀レハ「マオンセ」氏ノ如キ卓見ノ士カ日本
稅則ノ事ニ就テハ實際ニ於テ一事ノ論及スヘキ「ナシト」是考
シタル理由ナルヘシ果レテ然ラハ謠詐誕妄ヲ欺キ正ヲ証ユ
ルモノト云フ可シ而シテ謠詐誕妄ヲ為サント欲セハ寧ロ論及
セサルヲ以テ最上ノ策トナス也



